

令和元年度「子ども大学さやま」第3回目講義

11月30日（土）子ども大学さやま第3回目講義が行なわれました。

子ども大学とは…。

大学のキャンパスなどで小学校では学べないことを大学の先生などの専門家がわかりやすく教えるものです。内容は

ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」

地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」

自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

と3分野の講義を基本に行なわれるものです。

第3回目の講義は、武蔵野短期大学講師 八木浩雄先生による、「情報メディアを使った『わかる勉強』を考えてみよう」【生き方学】でした。

今回は、情報メディアを使って「調べる」いろいろな方法を学びます。最初に事柄を知る内容知に対して、今日勉強するのが「学び方を学ぶ」方法知だという説明がありました。そして、グループごとにiPadが配られ、子どもたちは大学生スタッフと一緒に先生が出す問の答えをネットで探していきます。キーワード検索、音声検索に加えて、乗換検索などを試しながら情報メディアで広がる学びの可能性を体験しました。

さらに、翻訳アプリや画像検索でわからないことが何でも調べられるという発見に子どもたちは驚きます。

最後に、便利な情報メディアを使う上での注意点についてのお話がありました。調べるのに便利なメディアをどう使いたいか、「考える」のは人間の役目だという言葉が子どもたちの心に残ったようです。

